

一 般 質 問 通 告 事 項 一 覧

令和元年第4回定例会 No.1

通告 順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(1)	宮嶋 謙 【一問一答】	1. デマンド型乗合タクシーの廃止方針を含め、公共交通の在り方の抜本的な見直しについて	①自分で自動車の運転ができない高齢者や交通弱者の大切な外出の手段となるデマンド型乗合タクシーの廃止方針について、多くの市民から撤回を求める声が高まっているが、市の考えを改めて伺う。	市長及び 担当部長
			②地域公共交通会議は、市民の声を十分に反映させて地域の実情に合った公共交通を実現するためにあるが、かすみがうら市の地域公共交通会議は形骸化しており、ただの追認機関になっている。抜本的な見直しについて伺う。	
		2. 災害情報を確実に市民に届ける防災行政無線の戸別受信機について	台風15号や19号のような猛烈な風雨に見舞われた際には、既存の屋外放送型の防災行政無線では、市民に情報を十分に伝達できないため、市民の安全を確保するためには戸別受信機の配布が有効だと考えるが、市の意向を伺う。	担当部長
		3. 国道、県道、市道などの市内の交通危険箇所の対策について	死亡事故が発生している国道354号の危険カーブ、街路灯や防犯灯が一切無い通称志戸崎バイパス（県道石岡田伏土浦線）、速度違反車の通行が常態化している堤防上の道路など、市民の安心・安全を確保する上で早急な改善が必要な箇所があるが、その対策を伺う。	担当部長

一 般 質 問 通 告 事 項 一 覧

令和元年第4回定例会 No.2

通告 順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(2)	中根 光男 【一括方式】	1. 悲惨な事故防止に 「キッズゾーン」創設に ついて	①「キッズゾーン」の認識について伺う。	市長及び 担当部長
			②当市の具体的な取り組み及び今後の計画案について伺う。	
		2. 豚コレラ対策につい て	①当市の現在の状況について伺う。	市長及び 担当部長
			②今後の取り組みについて伺う。	
		3. 救急隊にロボット スーツ配備について	①ロボットスーツの認識について伺う。	市長
			②当市の配備計画について具体的に伺う。	
		4. 災害備蓄に乳児用液 体ミルクの配備について	①現在の配備状況について伺う。	市長及び 担当部長
			②今後の取り組みについて具体的に伺う。	

一般質問通告事項一覧

令和元年第4回定例会 No.3

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(3)	佐藤 文雄 【一括方式】	1. 新広域ごみ処理建設及び運営について	①消費税が8%から10%になった事による新広域ごみ処理施設建設費及び運営費への影響額（債務負担行為）はいくらになるのかを問う。	市長及び 担当部長
			②新治地方広域事務組合のごみ処理施設（環境クリーンセンター）と還元施設（ふれあいの里）の解体費用は約15億円だが、霞台厚生施設組合のごみ処理施設の解体費用はどれ位かを問う。	
			③新広域ごみ処理施設が供用されれば新治地方広域事務組合は解散され同施設解体されることになるが、 （1）当市の負担総額はどれ位になるのか。 （2）中間置場を設けないとしているが、当施設への持ち込みする市民への対策を考えているのか。 （3）市民への広報はいつ実施するのか。 以上3点を問う。	
			④ごみの減量化・資源化について （1）家庭系ごみ及び事業系ごみの減量化 （2）廃プラスチックごみ対策をどう考えているのかを問う。	
			⑤災害ごみ対策は考えているのかを問う。	

一 般 質 問 通 告 事 項 一 覧

令和元年第4回定例会 No.4

通告 順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(3)	佐藤 文雄 【一括方式】	2. 東海第2原発再稼働について	①東京電力が、日本原子力発電への資金支援を正式に決め、東海第2原発の再稼働に向けた動きを強めているが、市長の見解を問う。	市長及び 担当部長
			②当市は、避難計画を策定する考えはあるのかを問う。	
		3. 子育て支援について	①幼児教育・保育における副食費も無料化にできないのかを問う。	市長及び 担当部長
			②待機児童対策に、保育士の処遇改善は急務だが、その考えはないのかを問う。	
			③乳児用ミルクや紙おむつ助成について、問う（県内では石岡市や常陸太田市、境町など5市町が紙おむつや粉ミルクなどの助成を独自に行っている）。	
			④小中学校の給食費無料化について、問う。	
			⑤就学援助制度の活用への取組を問う。	
			⑥子どもの医療費無料化を高校卒（18歳）までに拡充することについて、問う。	

一 般 質 問 通 告 事 項 一 覧

令和元年第4回定例会 No.5

通告 順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(3)	佐藤 文雄 【一括方式】	4. 国保税の引き下げについて	①少なくとも子どもの「均等割」を無くす又は軽減することが必要だと考えるが、「均等割」及び「平等割」を減額し、国保税の引き下げができないかを問う。	市長及び 担当部長
			②短期被保険証発行をやめ、通年の保険証の発行ができないかを問う。	
			③各都道府県が発表した2019年度の「標準保険料率」について、問う。	

一般質問通告事項一覧

令和元年第4回定例会 No.6

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(4)	設楽 健夫 【一問一答】	1. 法令順守コンプライアンスの市政運営について ・市長等特別職政治倫理条例 ・中学生傷害事件再発防止－いじめ防止条例運用 ・違法採用防止コンプライアンス	①違法採用を防げなかったのは何故か、最終選考面接官の特別職の責任は、法令順守（コンプライアンス）の市政へ、市長等特別職の政治倫理条例の制定について伺う。	市長及び 担当部長
			②中学校刃物傷害事件を防げなかったのは何故か、調査概要の報告はいつか、いじめ防止条例第15. 16. 17. 18条の運用コンプライアンス（カウンセラー制度、刃物等危険物管理統一運用、いじめ防止対策会議会議録等再発防止策）について伺う。	
			③採用コンプライアンス－公務員法違反の採用を防げなかったのは何故か、伺う。 1) 地方公務員法第35条・第38条に関わる違法採用再発防止について 2) 県と市の採用制度の違いは何か－県採用制度の導入について ・県1次試験、2次試験合計点数順による採用。 ・市1次試験4倍、2次試験3倍、3次試験面接官3名による最終選考採用等。	
		2. デマンド型乗合タクシー制度存続とあじさい号復活について	①土浦市の乗合タクシーの収支決算との比較について伺う。	市長及び 担当部長
			②あじさい号等農村部公共交通網の復活について伺う。	
			③旧穴倉小学校への公共交通について伺う。	

一 般 質 問 通 告 事 項 一 覧

令和元年第4回定例会 No.7

通告 順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(4)	設楽 健夫 【一問一答】	3. かすみがうら市立地 適正化計画－神立駅周辺 都市整備計画について	①立地適正化計画は何故遅れたのか、伺う。	市長及び 担当部長
			②社会資本整備計画の今後の運用について伺う。	
			③神立駅周辺の田園都市整備計画において雨排水路・出島用水道路工事等、土浦市との検討課題について伺う。	
			④土浦市との広域行政における社会資本整備事業・都市計画税等、統一すべき課題について伺う。	
			⑤神立駅東－歩道整備及び西成井バイパス出島用水管工事、信号設置について伺う。	

一般質問通告事項一覧

令和元年第4回定例会 No.8

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(5)	矢口 龍人 【一括方式】	1. 大雨洪水被害状況を踏まえた防災対策について	①台風19号・10月25日の大雨による本市の災害・避難及び冠水被害状況について伺う。	市長及び 担当部長
			②市道8-0480号線道路排水整備工事・角来上池整備工事の設計根拠について伺う。	
			③工業団地を含む市街化区域における雨水対策について伺う。	
		2. 総合防災訓練における実践的、効果的な訓練の目的と効果について	①防災訓練の重要な目的の一つである実践的、効果的な訓練について伺う。	市長及び 担当部長
			②自主防災組織が機能するための対策について伺う。	
			③過去5年間の訓練により本市における具体的な課題・改善点はどのような事項が挙げられるか伺う。	
			④避難所開設後の対応について伺う。	
			⑤道路等の冠水（実態及び想定を含む）に伴う避難経路の誘導について伺う。	
			⑥総合防災マップの課題について伺う。	
			⑦ボランティアの受け入れ体制及び対応について伺う。	

一般質問通告事項一覧

令和元年第4回定例会 No.9

通告 順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(6)	古橋 智樹 【一問一答】	1. 子どものいる世帯の 貧困と給食費未納との相 関と対策について	①市内の子ども約6千人のうち子ども貧困及び子どものいる現役世帯の当市現状と合併後から今日までの調査結果と推移について伺う。（一問一答のため各一回目答弁を90秒内で求む。以下同じ。）	市長及び 担当部長
			②市内児童生徒約3千人における給食費未納の合併後から今日までの推移と貧困実態との関連状況について伺う。	
			③給食費と児童手当や教育扶助費等による合併後から今日までの推移相殺処分等の推移について伺う。	
			④県内及び隣市の給食費公会計導入先例の効果とデメリットについて伺う。	
			⑤子ども食堂先進事例の決算状況について伺う。	
			⑥福祉配食サービスの子ども貧困への転用の先例と可能性について伺う。	
			⑦改正子どもの貧困対策法に基づく早期の市当該計画を県内先駆けて策定することもシティープロモーション相当の効果があり、インフラ整備を中心とした市民協働を唱える坪井市政に具体的な弱い立場を守る姿勢も必要である。さらには、共稼ぎ、核家族等における親が子に真っ当な愛情で接する機会の減少を抑える目的や給食費未納等の経済的援助や学校内トラブル等の背景対策にも通ずる効果もあると察するが、今後の当該対応を伺う。	

一般質問通告事項一覧

令和元年第4回定例会 No.10

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(6)	古橋 智樹 【一問一答】	2. 教育福祉等における保護者・世話人・代理人等の法定義画一によるサービス効率化について	高齢化社会の最中、現代の家族構成は、必ずしも周知の血縁ではなく、同居人、あっせん人、婚姻を入れず家族よりも信用を置く友人知人などとケースは様々である。子どもの迎えをはじめ、学校における教育現場や行政の各福祉サービス申請手続き等における現場で労力を費やす事柄は、本人に代わる保護者や代理等の立場との信用確認、もしくは性善説により暇を省き、簡易な委任状の確認や事務吏員等現場の裁量で済ませるという状況もあるが、いずれも相続手続きや土地取引に比べ希薄な信用確認で詐欺詐取や事件等に発展する可能性も少なくない。弁護士や司法書士、行政書士等の担保を取らずとも、公安委員会の免許証だけの確認を脱して、マイナンバーカード等に行政としてもっと信用拡充を重視し、各条例に基づく規則の改正を重用しなければ、事務効率化による削減効果、先々のスマートシティ構想に歩み寄ることはできないものと察するが、市の考えを伺う。	市長及び 担当部長
		3. 危機管理体制補充の 短兵急について	①現代社会の多様化で増え続ける市役所業務の人手不足を補うものは、特別職から管理職までの職務経験による質的な采配や指南に優るものはないと存するが、実態としては量的業務を早く正確に行う人員確保が必要となっており、長期的見通しでの採用人員の確保や就職機会への社会貢献を抑制せざるを得ない状況である。しかし、この度の新聞報道で知った当該補充は、これらの需要に反するものとも捉えられ、災害の酷い他市町村の地域を見ればこの自己防衛専守の優先の姿に当市民も素直に歓迎できないタイミングでもあろうと察する。そこで先ず危機管理監の市区町村レベル配備先例と計画や経過と採用発案者について伺う。なお申し添えるが、法令等の身分保障による雇用や採用した本人資質には全く拠らない質問である。	市長及び 担当部長
			②危機管理対応時の副市長と総務部課長の業務役割について伺う。	
			③危機管理監の災害対応業務範囲と被災処理と平常時業務計画について伺う。	
			④先の消防における事故処理に省みる事故対応の現場監理人員不足と整合について伺う。	
			⑤東日本大震災による災害支援派遣職員の実績と費用対効果、派遣年数と根拠、他災害援助や当該採用との整合性について伺う。	

一般質問通告事項一覧

令和元年第4回定例会 No.11

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(6)	古橋 智樹 【一問一答】	4. コミュニティ防犯体系のための有償ボランティア補助等の整備について	市内で先の不審人物の疑い事例が度重なった以後、地域の防犯意識も上がり、ボランティアの巡回も、児童生徒の登下校時によりマッチングした体系となり、青パトカーの巡回数も増えたなど、安心安全としてより心強くなったことは評価できるが、この防犯活動の持続性を行政が支える仕組みとして整備はできていないと察する。今に続く消防団組織に倣い需要ある防犯活動も有償ボランティアや補助等として視野に入れ、早急に調査研究を進める必要があると存ずるが、前回の当該質問時、土浦市などのコミュニティ防犯体系の先進事例は、仕組みを確認できなかったとの答弁であったが、未だに仕組みを做うことが確認できていないのか再度伺う。	市長及び 担当部長

一般質問通告事項一覧

令和元年第4回定例会 No.12

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(7)	来栖 丈治 【一括方式】	1. デマンド型乗合タクシーの存続について	①デマンド型乗合タクシーの存続を求める請願を趣旨採択の付帯決議書で、デマンド型乗合タクシー運行を始めた平成22年から利用者負担は経費に対して1割には達しておらず、その後9年間同様の割合でありましたが、廃止理由として、デマンド型乗合タクシー運行の廃止理由は、利用実態から運行経費が大きく利用者が固定化され、利用者一人当たりの費用から費用対効果が問題とのことであります。であるならば、その間、利用促進策の検討や利用料金の改定などが行われるべきであり、地域公共交通会議の委員が判断するに必要なPDCAサイクルが機能したとは言い難い状況と指摘しています。利用者との話し合いの実施内容について伺います。	市長及び 担当部長
			②デマンド型乗合タクシー事業は、本市の高齢化の進展と交通不便地域の住民生活を支援する観点から、平成22年度からドア・ツー・ドアの公共交通として提供され、9年間で、約2億5千万円の経費を要しました。利用者からいただいた運賃収入は約2千3百万円で、利用者負担は一割に満たない状況です。持続可能な制度とするため、運行経費の2分の1程度を利用者負担とする制度見直しを図り、定期的な改善を定めた制度設計で事業の存続を図ること。及び、デマンド型乗合タクシー事業は利用者の固定化で新規利用が限定的とのことから、需要に応じた供給の安定化を図る観点から神立駅周辺を共有する土浦市の公共交通との連携、運行事業者が採算性を高められる制度設計を検討すること。2つの付帯決議を受けてどのような検討が今日まで行われてきたのか伺います。	
			③第2回の定例会での質問に対する答弁は、公共交通は、広く市民サービスが確保できること、それから費用対効果も考えられること、そしてまた持続可能であること、そんなことを総合的に考えながら、よりよい姿を考えていくということで、公共交通会議の中でデマンド型乗合タクシーの廃止方針が示された。廃止方針を受けて約3000人の署名活動が起こり、議会は6月19日のデマンド型乗合タクシーの存続を求める請願に付帯決議を付け趣旨採択とした経過です。市の公共交通会議での協議、検討状況について伺います。	

一般質問通告事項一覧

令和元年第4回定例会 No.13

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(7)	来栖 丈治 【一括方式】	2. 有事の防災無線の実効性と市民の情報取得について	①台風15号及び19号、その後の大雨の際、防災無線からの災害情報や避難情報など、ありがたく感じた次第です。一方で、「暴風の中で聞き取りにくい、聞こえなかった。」と言った苦情もうかがいました。この度の災害においてどの程度の苦情があったか伺います。 ②防災無線が聞こえなかった場合、市民はどんな方法で情報を入手することができるのか伺います。また、停電が発生した場合、防災無線の機能はどうなるのか。その場合の市民への情報伝達方法はどんな方法になるのか併せて伺います。	市長及び 担当部長
		3. 人口ビジョンや地方創生総合戦略と市の移住定住政策の活性化について	①本市の人口ビジョンにおいて特殊出生率は、2008年から2012年に1.50の数値が示され、2025年に1.80、2040年には2.10にすること、それを維持することで2060年には、ゼロ歳から4歳の人口が1,400人程度になるとの将来目標が記されています。地方創生総合戦略の中で、転出抑制や交流人口拡大、移住定住促進などの政策が実践されてきました。本市の現状の評価と第2期計画策定について伺います。 ②定住サポート事業は、本市総合計画において就業促進及び産学官連携両面からの政策として、地元出身者が集う同窓会を開催し、併せて、市内産業・事業所への就労に関心を持ってもらえるような情報を提供することで、Uターンや転職を考えるきっかけづくりを行い、若い世代の定住・移住を促進するとしたものでした。実績と今後の展開について伺います。 ③縦割り行政から横の連携強化、連帯の地域づくりで市民生活の向上を念頭に、以前から旧市町村（地区）仮称まちづくり協議会のような組織づくりの提案をしました。加えて、地方創生総合戦略を旧市町村（地区）ごとに評価するような考えはないかといった提案をした経過があります。旧小学校区を主とした旧市町村（地区）コミュニティや区域指定などの関係から、人口減少の抑制策を実践するうえで、また、地域コミュニティの維持、防災、防犯、地域福祉の面からも旧市町村での市民参加の事業展開が有効と考えているからです。そこで、島根県中山間地域研究センター研究統括監で藤山浩教授の田園回帰1%戦略を提唱する取り組みを私は評価し、旧地区公民館（10から20の集落）が種々の事業の連携範囲で評価の基となるような行政のまちづくりが今後の有効な地域づくりと考えますが、市長のご見解を伺います。	市長及び 担当部長